

新発田市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表  
パブリックコメントを踏まえて修正を行ったもの(その他修正を含む)

No.	基本計画掲載ページ	意見要旨	パブリックコメント・庁内意見の別	パブリックコメントNo.	修正前	修正後(下線部分が修正)
1	61	空き家バンクの図について、矢印の方向が違うのではないか。	パブリックコメント	50	未記載	P61の図5-10のとおり祝金の矢印を追加
2	65	『札の辻広場』は、賑わい、交流拠点の重要ポイントであることからしても、活用方法のイメージを掲載すべき。	パブリックコメント	48	「札の辻広場」を有効活用して、賑わいの創出を図ります。	<u>新庁舎の一角に整備を予定している「札の辻広場」では、イベント等にも活用できる広場として有効活用を図り、賑わいを創出していきます。(図5-13を追加)</u>
3	67	バス運行を工夫し、料金が安く頻度の多い循環バスを充実させ、現図書館や他の公共施設・文化施設・観光施設との連動させることを望む。	パブリックコメント	30	市街地や市街地郊外などの交通空白地帯には、その地域に応じた公共交通を充実させ、交通利便性の向上を図ります。	市街地や市街地郊外などの交通空白地帯には、その地域に応じた公共交通を充実させ、交通利便性の向上を図ります。また、市街地内の公共施設や文化・観光施設などの回遊性・利便性向上のため、市街地循環(あやめ)バスの運行の見直しを進めます。
4	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまた自家用車に頼らざるを得ない現状では、商店街のためにも、賑わい創出のためにも相応の駐車場(自走式立体駐車場)が必要が必要。</li> <li>・駐車場問題の解決こそ、中心市街地活性化にとって最大の課題であり、市民が最も望んでいること。</li> <li>・長時間安価に利用できる駐車場を計画的に分散させることによってアクセスが増加するものとする。</li> </ul>	パブリックコメント	43、47	未記載	市街地駐車場のネットワーク化や市街地に必要な駐車台数等の調査・再配置の検討を行い、市民及び市外来街者が利用する駐車場の利便性向上を図ります。
5	68					
6	74					
7	74,66	商店街オンリーワン戦略の役割分担に行政が入っていないのは「なぜ」ですか。再度検討の上、記載すべき。	パブリックコメント	48	未記載	役割分担の中に「行政」を追加。あわせて、66ページも修正
8	75	4施策の位置は、地図上の○印のある番号に「噴出し」を作り、各事業名を大きく地図に配置した方が見易くなると思う。	パブリックコメント	48	未記載	75ページのとおり修正
9	74	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会等からも指摘がある空きビルの活用方策について、具体的な施策を追加した。</li> </ul>	庁内意見	/	未記載	市街地内における市所有・民間所有の建造物や空きビル等既存建造物の有効活用を検討します。
10						(48)既存建造物の活用検討を追加

No.	基本計画掲載ページ	意見要旨	パブリックコメント・庁内意見の別	パブリックコメントNo.	修正前	修正後(下線部分が修正)
11	18	現状分析の精度を高め、一部修正を行った。	庁内意見		<p>○空き店舗率は、平成13年以降増加しており、近年では30%程度で推移しています。これに伴い、店舗率も減少傾向にあります。</p> <p>○これと同様に、閉店する店舗も目立ち、平成13年から平成17年にかけて急増しています。平成21年以降、閉店する店舗は減少していますが、店舗率の減少から見てわかるように、全体の店舗が少なくなっているためと考えられます。</p> <p>○さらに、地域の商店街では、空き店舗の活用や商店街環境の整備などを行っていますが、郊外型集客施設の影響等もあり、空き店舗が慢性的に存在する状況となっています。また、平成18年以降、閉店件数とほぼ比例して駐車場件数も増加傾向にあります。</p>	<p>○空き店舗率は、平成13年以降増加していましたが、<u>空き店舗への出店促進のための助成金事業を導入するなどの対策を行い、近年では25%程度と若干の減少傾向にあります。</u></p> <p>○同様に、平成13年から平成17年にかけて閉店する店舗が急増しています。平成21年以降、閉店する店舗は減少していますが、店舗率の減少から見てわかるように、<u>全体の店舗が少なくなっています。</u></p> <p>○地域の商店街では、<u>空き店舗の活用や商店街環境の整備などを行っていますが、近年のモータリゼーションの進展と郊外大型店の進出、また、経営者の高齢化や後継者不足の影響等もあり、空き店舗が慢性的に存在する状況となっています。</u>また、平成18年以降、閉店件数とほぼ比例して駐車場件数も増加傾向にあります。</p>
12	22	現状分析の精度を高め、一部修正を行った。	庁内意見		<p>次いで、紫雲寺地区の「深層湯温泉・紫雲の郷」(191,900人)、加治川地区の「加治川道の駅・桜館」(151,120人)となっていますが、合併した平成17年度の数値と比較しますと紫雲の郷が107%、桜館では178%の増となっています。その一方で、「県立紫雲寺記念公園」は、75%の減少となっています。直接的な原因は特定できませんが、平成22年度から急激な減少に転じています。</p>	<p>紫雲寺地区の「深層湯温泉・紫雲の郷」(191,900人)、加治川地区の「加治川道の駅・桜館」(151,120人)となっていますが、合併した平成17年度の数値と比較しますと紫雲の郷が107%、桜館では178%の増となっています。<u>その一方で、「県立紫雲寺記念公園」は、75%の減少と平成22年度から急激な減少に転じています。</u></p>
13	43	中心市街地における課題として、掘り下げた表記に修正した。	庁内意見		<p>中心市街地における観光イベント等の状況をみると、一年を通じて様々な祭やイベントが開催されていますが、新発田城及び清水園などの観光施設の入込数が減少傾向にあること、加えて、市街地の歴史・文化・観光資源に対する市民認識度が低いことは大きな課題といえます。</p> <p>県内トップの入込数60万人を誇り、平成26年度には開湯100年を迎える「月岡温泉」をはじめ、加治川地域の「道の駅桜館」、「日本一小さな山脈・大峰山」、紫雲寺地域の「水質AAの藤塚浜」、「深層湯温泉・紫雲の郷」など中心市街地に隣接する地域には数十万単位の観光客が来街している状況があることから、これらの観光客を市街地へ誘導するための方策を講じることが必要不可欠です。</p> <p>平成24年度からは、「堀部安兵衛誕生の地・新発田」をキーワードに新発田城・長徳寺など市街地を周遊する観光コースの新設や「生誕地まつり」イベントを通して、新発田が誇る「食」を活用したお菓子や飲食店メニューの新商品開発を行うなど、歴史・文化に食を加えた観光資源を活用しながら市民意識の醸成や首都圏からの誘客に取り組んでいます。</p> <p>このように、城下町としての歴史・文化・伝統資源を活かす街なみの整備事業と合わせて、点在する史跡や観光関連施設などを巡る市街地周遊コースの造成など、ハード・ソフト双方の事業を両輪のごとく組み合わせながら、中心市街地のさらなる魅力付けと回遊性の向上を図っていく必要があります。</p>	<p>中心市街地では、年間を通じて祭りや各種イベントが開催されていますが、市街地の歴史・文化・観光資源に対する市民認知度や観光客の来場者数はまだ低く、中心市街地のにぎわいづくり・活性化に向けた大きな課題の一つです。</p> <p>中心市街地には、<u>城下町新発田の文化や歴史を今に残す佇まいが数多くあり、誘客促進を図り、にぎわいを生み出していくカギとなる貴重な資源が点在しています。</u>城下町の風情を最大限に引き出して価値を高め、他の観光資源や市内各地域との連携を深めるとともに、<u>まちの人々が誇りを持って訪問者に対応できるよう、意識の醸成をしていくために、街並みの形成や食資源の活用を行う必要があります。</u></p> <p>誘客促進と回遊策の基本的な方針としては、<u>新発田城から新発田駅までを一つの大きな観光エリアとして捉え、その中の歴史・文化・伝統・食資源などの観光資源と各エリアを連携していくことです。</u></p> <p><u>これを新発田川により結び付け、「新発田川」＝「水のみち」＝中心市街地の点在する観光資源をつなぐ回遊ルートというイメージにより、この地域にある城下町の歴史・文化・伝統・食資源を大いに活用するため、今後、街並みや市道整備美装化などの事業や点在する史跡や観光関連施設などを巡る周遊コース造成や二次交通の整備など、ハード・ソフト双方の事業を組み合わせ、中心市街地活性化に向けたさらなる魅力付けと誘客力の強化、回遊性の向上を図っていく必要があります。</u></p>

No.	基本計画掲載ページ	意見要旨	パブリックコメント・庁内意見の別	パブリックコメントNo.	修正前	修正後(下線部分が修正)
14	65、74	まちの賑わいづくりについて、魅力的な店舗を目指す、より総合的かつ有機的な取り組みとし、併せて分かりやすい表記に修正した。	庁内意見	48	商店街オンリーワン戦略により、各店舗において、そこにしかない商品づくりを行うとともに、そうした店舗を集積化し、賑わいの創出を図ります。また、人気店舗の誘致を進めていきます。あわせて、オープンカルチャーやストリートミュージシャンなどに場を提供していきます。	各店舗において、 <u>魅力あるサービスと商品を提供できるよう、商店街や関係団体と共に検討を行い、魅力ある店舗づくりを進め、賑わいの創出を図ります。</u>
15	69	観光案内所の整備イメージについて、より具体的な表現を追加した。	庁内意見		・現在、新発田駅構内にある観光案内所については、新発田駅前複合施設の整備にあわせ、より機能を充実した観光案内所を検討し、整備します。	・現在、新発田駅構内にある観光案内所については、 <u>今後、市内回遊を促すための案内業務や二次交通手段の手配、土産品の購入などの機能を新発田駅前複合施設の整備にあわせ、拡充していくこととします。</u>
16	73	整備イメージに合わせた表記に修正した。	庁内意見		施策8 個性的な商店街振興と特産品開発による活気づくり	施策8 個性的な商店街振興による <u>活気あるまちづくり</u>
17	73	商店街の振興策について、より具体的な表現を追加した。	庁内意見		・意欲ある事業者を発掘し、空き店舗等を活用したチャレンジショップ事業を推進します。 ・新発田駅前複合施設整備と連携して特産品や加工品等の購入ができる場(施設)の整備を検討します。	・ <u>中心市街地の屋台骨である商店街が、より魅力あるサービスと商品を提供できるよう、商店街や関係団体と共に検討を進めます。</u> ・ <u>ホームページを活用した空き店舗情報の発信等、出店希望者への支援を行います。</u> ・ <u>やる気のある事業者に空き店舗への出店を促すため、空き店舗助成金を提供し、活気づくりを支援します。</u> ・ <u>空き店舗を活用したチャレンジショップ事業を進め、起業を目指す方を支援します。</u> ・新発田駅前複合施設整備と連携して特産品や加工品等の購入ができる場(施設)の整備を検討します。

※その他 字句等の修正